日韓相互認識研究会　記録

（文責　若尾政希）

第一九回研究会（二〇一二年七月二五日）

於一橋大学マーキュリータワープロジェクトルーム

糟谷憲一（一橋大学・大学院社会学研究科・教授）
「二〇世紀初頭の朝鮮における権力構造に関する考察」

吉田　裕（一橋大学・大学院社会学研究科・教授）

裵　姈美（立命館大学コリア研究センター専任研究員）

野木香里（一橋大学大学院社会学研究科博士課程）
「特攻隊に関する一考察―朝鮮人兵士の問題を中心に」

第一五回日韓歴史共同研究シンポジウム・共同学術踏査（日本・鹿児島県）

日程　二〇一二年八月一九日～二二日

八月一九日　共同学術踏査
鹿児島市内　西南戦争関係史跡
レセプション　鹿児島市　中原別荘

八月二〇日　シンポジウム　鹿児島市　中原別荘

【報告者及び報告タイトル】

司会　池　享

張　寅性「近代韓国における、天の観念の変容」

討論者　石居人也

糟谷憲一「二〇世紀初頭の朝鮮における権力構造に関する考察―一八九九～一九一〇―」

討論者　金　顕哲

鄭　肯植「京城帝大付属図書館の東洋法書の特徴」

討論者　君島和彦

金基奭「東西洋の高等教育に対する比較歴史学的分析」

討論者　木村　元

吉田裕・裵姈美・野木香里「特攻隊に関する一考察―朝鮮人兵士の問題を中心に」

討論者　金　興秀

八月二一日　共同学術踏査

鹿児島県内、美山地区、知覧地区、坊津、望比公園の戦争関係史跡

【参加者】

（韓国側）

盧　泰敦（Noh Tae-Don）ソウル大学校人文大学国史学科教授　韓国古代史

韓国側代表

金　容德（Kim Yong-Deok）ソウル大学校名誉教授、日本史

金　基奭（Kim Ki-Seok）ソウル大学校師範大学教授、教育史

張　寅性（Jang In-Sung ）ソウル大学校社会科学大学政治外交学部教授、東アジア国際政治思想

金　興秀（Kim Heung-Soo）空軍士官学校教授、近代韓日關係史

鄭　肯植（Jung Geung-Sik）ソウル大学校法学大学院教授、韓国法制史

元　智妍（Won Ji-Yeon）全南大学校国際学部教授、日本近現代史

南　基鶴（Nam Ki-Hak）翰林大学校人文大学日本学科教授、日本中世史、韓国側事務局長

朴　桓甫（Park Hwan-Bo）ソウル大学校教育研究所研究員、教育史

洪　文基（Hong Mun-Ki）ソウル大学校国史学科非常勤講師、韓国近代史

金　顕哲（Kim Hyun-Chul）東北亜歴史財団研究委員、韓国近代政治外交史及び思想史

（日本側）

吉田　裕（Yoshida Yutaka）一橋大学大学院社会学研究科教授、日本近代政治史

日本側代表

糟谷憲一（Kasuya Kenichi）一橋大学大学院社会学研究科教授、朝鮮近世・近代史

田﨑宣義（Tasaki Nobuyoshi）放送大学多摩センター所長、日本近現代史

池　享（Ike Susumu）一橋大学大学院経済学研究科教授、日本中世史

木村　元（Kimura Hajime）一橋大学大学院社会学研究科教授、日本教育史

森　武麿（Mori Takemaro）神奈川大学教授、日本近現代経済史

君島和彦（Kimijima Kazuhiko）東京学芸大学名誉教授、日本近現代史

黒瀬郁二（Kurose Yuji）鹿児島国際大学経済学部教授、日本近代経済史

井上和枝（Inoue Kazue）鹿児島国際大学国際文化学部教授、朝鮮史・ジェンダー史

木村直也（Kimura Naoya）産業能率大学経営学部教授、近世・近代日朝関係史

山内民博（Yamauchi Tamihiro）新潟大学人文社会教育科学系准教授、朝鮮中世・近世史

林　雄介（Hayashi Yuusuke）明星大学人文学部教授、朝鮮近代史

山口公一（Yamaguchi koichi）追手門学院大学国際教養学部准教授、朝鮮近代史

佐藤宏之（Sato Hiroyuki）鹿児島大学教育学部准教授、日本近世史

小関悠一郎（Koseki Yuichiro）千葉大学教育学部准教授、日本近世史

酒井裕美（Sakai Hiromi）大阪大学大学院言語文化研究科専任講師、朝鮮近代史

裵　姈美（Bae Young-Mi）立命館大学コリア研究センター専任研究員、朝鮮近代史

若尾政希（Wakao Masaki）一橋大学大学院社会学研究科教授、日本近世史・思想史、日本側事務局長

石居人也（Ishii Hitonari）一橋大学大学院社会学研究科准教授、日本近現代史

高柳友彦（Takayanagi Tomohiko）一橋大学大学院経済学研究科専任講師、日本近現代史

杉　岳志（Sugi Takeshi）一橋大学附属図書館専門助手、日本近世史

事務局・スタッフ
崔　誠姫（Choi Seong-Hee）一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程、朝鮮近現代史
野木香里（Nogi Kaori）一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程、朝鮮近現代史
呉　永鎬（O Yong-Ho）一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程、日本教育史
加藤圭木（Kato Keiki）一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程、朝鮮近現代史
秋岡あや（Akioka Aya）一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程、リサーチアシスタント、朝鮮近現代史
李　宣定（Lee Sun-Jung）一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程、リサーチアシスタント、日本近代史
孫　孝珍（Son Hyo-Jin）一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程　朝鮮近現代史

第二〇回研究会（二〇一三年一月一三日）
於一橋大学マーキュリータワープロジェクトルーム
南　相九（東北アジア歴史財団）「独島竹島・歴史問題から日韓関係を考える」

第二一回研究会（二〇一三年七月一五日）
於一橋大学マーキュリータワープロジェクトルーム
佐藤宏之（鹿児島大学教育学部准教授）
小関悠一郎（千葉大学教育学部准教授）
「「大名評判記」にみる近世日本の大名像―「東アジア近世」論をめぐって―」
三ツ井崇（東京大学大学院総合文化研究科准教授）
「「朝鮮総督府時局対策調査会」（一九三八年）会議にみる「内鮮一体」問題―第一分科会を中心に―」
杉　岳志（一橋大学附属図書館専門助手）
「目録にみる東京高等商業学校の蔵書の特徴」

第一六回日韓歴史共同研究シンポジウム・共同学術踏査（韓国・江原道春川、国史編纂委員会・翰林大学後援）
日程　二〇一三年八月一九日～二二日
八月一九日　共同学術踏査
ナミ島「南怡将軍墓」・春川市内及び「申崇謙墓域」等レセプション

八月二〇日　シンポジウム　翰林大学校国際会議室
司会　南　基鶴・池　享
佐藤宏之・小関悠一郎「〝大名評判記〟にみる近世日本の大名像―東アジア〝近世化〟論をめぐって―」
討論者　張　寅性
金　興秀「壬午軍乱時期における日本の朝鮮政策と世論」
討論者　木村直也
三ツ井崇「「朝鮮総督府時局対策調査会」（一九三八年）会議にみる「内鮮一体」問題―第一分科会を中心に―」
討論者　朴　羊信
徐　禎完「植民地朝鮮における文化権力としての能」
討論者　山口公一
杉　岳志「目録にみる東京高等商業学校の蔵書の特徴」
討論者　金　容徳
八月二一日　共同学術踏査
高城、花津浦「金日成別荘・李承晩別荘、襄陽「三八線休憩所」、江陵「船橋荘」等
八月二二日　翰林大学校日本学研究所訪問

【参加者】
（韓国側）
盧　泰敦（Noh Tae-Don）ソウル大学校人文大学国史学科教授　韓国古代史
韓国側代表
金　容徳（Kim Yong-Deok）光州科学技術院碩座教授、日本近代史
李　泰鎮（Yi Tae-Jin）国史編纂委員会委員長、韓國近代史
李　賢惠（Lee Hyun-Hye）翰林大学校人文大学史学科教授、韓国古代史
張　寅性（Jang In-Sung ）ソウル大学校社会科学大学政治外交学部教授、東アジア国際政治思想
都　珍淳（Doh Jin-Soon）昌原大学校史学科教授、韓国現代史
金　興秀（Kim Heung-Soo）空軍士官学校教授、近代韓日関係史
元　智妍（Won Ji-Yeon）全南大学校国際学部教授、日本近現代史
朴　桓甫（Park Hwan-Bo）ソウル大学校教育研究所研究

員、教育史

許　壽童(Xu Shou-Tong)（中国）三亞學院社會發展學院
副教授、東アジアの歴史と政治

徐　禎完(Suh Johng-Wan) 翰林大学校人文大学日本学科
教授、翰林大学校日本学研究所長、日本芸能史
・日本中世文学

朴　羊信(Park Yang-Shin)翰林大学校日本学研究所研究
教授、日本近代史

南　基鶴(Nam Ki-Hak)翰林大学校人文大学日本学科教授、
日本中世史、韓国側事務局長

盧　成昊（Roh Sung-Ho）翰林大学校人文大学史学科非常
勤講師、翰林大学校アジア文化研究所研究員、
韓国現代史

事務局・スタッフ

洪　文基（Hong Mun-Ki）ソウル大学校国史学科非常勤講
師、ソウル大学校国際問題研究所先任研究員、
韓国近代史

沈　載賢（Shim Jae-Hyun）　翰林大学校国際学部非常勤講
師、翰林大学校日本学研究所研究員、日本文学

（日本側）

糟谷憲一（Kasuya Kenichi）一橋大学大学院社会学研究
科教授、朝鮮近世・近代史
日本側代表（代行）

池　享（Ike Susumu）一橋大学大学院経済学研究科教
授、日本中世史

森　武麿（Mori Takemaro）神奈川大学教授、日本近現代
経済史

田﨑宣義（Tasaki Nobuyoshi）放送大学多摩センター所
長、日本近現代史

君島和彦（Kimijima Kazuhiko）東京学芸大学名誉教授、
日本近現代史

木村　元（Kimura Hajime）一橋大学大学院社会学研究科
教授、日本教育史

木村直也（Kimura Naoya）産業能率大学経営学部教授、
近世・近代日朝関係史

若尾政希（Wakao Masaki）一橋大学大学院社会学研究科
教授、日本近世史・思想史、
日本側事務局長

山内民博（Yamauchi Tamihiro）新潟大学人文社会教育科

学系准教授、朝鮮中世・近世史
林　雄介（Hayashi Yuusuke）明星大学人文学部教授、朝鮮近代史
権　容奭（Kwon Yong-Seok）一橋大学大学院法学研究科准教授、国際関係史
石居人也（Ishii Hitonari）一橋大学大学院社会学研究科准教授、日本近現代史
山口公一（Yamaguchi koichi）追手門学院大学国際教養学部准教授、朝鮮近代史
三ツ井崇（Mitsui Takashi）東京大学総合文化研究科准教授、朝鮮近代史
佐藤宏之（Sato Hiroyuki）鹿児島大学教育学部准教授、日本近世史
小関悠一郎（Koseki Yuichiro）千葉大学教育学部准教授、日本近世史
高柳友彦（Takayanagi Tomohiko）一橋大学大学院経済学研究科専任講師、日本近現代史
杉　岳志（Sugi Takeshi）一橋大学附属図書館専門助手、日本近世史
事務局・スタッフ
加藤圭木（Kato Keiki）一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程、朝鮮近現代史
秋岡あや（AkiokaAya）一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程、朝鮮近現代史
李　宣定（Lee Sun-Jung）一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程、リサーチアシスタント、日本近代史
孫　孝珍（Son Hyo-Jin）一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程、リサーチアシスタント、朝鮮近現代史

第二二回研究会（二〇一四年一月一二日）

於一橋大学マーキュリータワープロジェクトルーム
加藤圭木「清津港の「開発」と朝鮮東北部社会―日露戦争から一九二〇年代まで―」

第二三回研究会（二〇一四年七月二八日）

於一橋大学マーキュリータワープロジェクトルーム
加藤圭木「朝鮮東北部の社会変容と植民地支配―清津港の建設をめぐって―」
高柳友彦「温泉資源の利用と開発―高度成長期の熱海温泉を事例に―」

第一七回日韓歴史共同研究シンポジウム・共同学術踏査

（日本・東京一橋大学、長野県）

日程　二〇一四年八月一八日～二二日

八月一八日　レセプション

八月一九日　シンポジウム　一橋大学佐野書院

司会　吉田裕・池享

南　基鶴「『吾妻鏡』にみえる「武威」の諸相」

討論者　松園潤一朗

加藤圭木「朝鮮東北部の社会変容と植民地支配―清津港の建設をめぐって―」

討論者　金　興秀

都　珍淳「王仁顕彰の両面：民族主義と植民主義、その連繋と変奏」

討論者　糟谷憲一

高柳友彦「温泉資源の利用と開発―高度成長期の熱海温泉を事例に―」

討論者　元　智妍

李　泰鎮「「李王職」所蔵の『永楽大典』1冊買入経緯追跡―朝鮮総督府の中国古文献大量買入と「東洋史」研究基盤構築―」

討論者　糟谷憲一

八月二〇日～二一日　共同学術踏査

長野県　松代大本営・無言館・飯田歴史研究所

【参加者】

（韓国側）

盧　泰敦（Noh Tae-Don）ソウル大学校人文大学国史学科教授　韓国古代史

韓国側代表

金　容德（Kim Yong-Deok）光州科学技術院碩座教授、日本近代史

李　泰鎮（Yi Tae-Jin）ソウル大学校国史学科名誉教授、韓國近代史

李　賢惠（Lee Hyun-Hye）翰林大学校史学科教授、韓国古代史

金　基奭（Kim Ki-Seok）ソウル大学校師範大学教授、教育史

都　珍淳（Doh Jin-Soon）昌原大学校史学科教授、韓国現代史

金　興秀（Kim Heung-Soo）空軍士官学校教授、近代韓

日關係史

元　智妍（Won Ji-Yeon）全南大学校国際学部教授、日本近現代史

徐　禎完(SUH Johng-Wan) 翰林大学校人文大学日本学科教授、翰林大学校日本学研究所長、日本芸能史・日本中世文学

南　基鶴（Nam Ki-Hak）翰林大学校人文大学日本学科教授、日本中世史、韓国側事務局長

洪　文基（Hong Mun-Ki）ソウル大学校国史学科非常勤講師、韓国近代史

（日本側）

吉田　裕（Yoshida Yutaka）一橋大学大学院社会学研究科教授、日本近代政治史、日本側代表

糟谷憲一（Kasuya Kenichi）一橋大学大学院社会学研究科特任教授、朝鮮近世・近代史

田﨑宣義（Tasaki Nobuyoshi）放送大学東京多摩学習センター所長、日本近代史

池　享（Ike Susumu）一橋大学名誉教授、日本中世史

君島和彦（Kimijima Kazuhiko）東京学芸大学名誉教授、日本近現代史

山内民博（Yamauchi Tamihiro）新潟大学人文社会教育科学系准教授、朝鮮中世・近世史

林　雄介（Hayashi Yuusuke）明星大学人文学部教授、朝鮮近代史

石居人也（Ishii Hitonari）一橋大学大学院社会学研究科准教授、日本近現代史

山口公一（Yamaguchi koichi）追手門学院大学国際教養学部准教授、朝鮮近代史

佐藤宏之（Sato Hiroyuki）鹿児島大学教育学部准教授、日本近世史

小関悠一郎（Koseki Yuichiro）千葉大学教育学部准教授、日本近世史

酒井裕美（Sakai Hiromi）大阪大学大学院言語文化研究科准教授、朝鮮近代史

鄭　栄桓（Chong Yong-Hwan）明治学院大学教養教育センター准教授、朝鮮現代史

杉　岳志（Sugi Takeshi）島根県立大学短期大学部専任講師、日本近世史

高柳友彦（Takayanagi Tomohiko）一橋大学大学院経済学研究科専任講師、日本近現代史

松園潤一朗（Matsuzono Junichiro）一橋大学大学院法学研究科専任講師、日本法制史
加藤圭木（Kato Keiki）一橋大学大学院社会学研究科特任講師（ジュニアフェロー）、朝鮮近現代史
若尾政希（Wakao Masaki）一橋大学大学院社会学研究科教授、日本近世史・思想史、日本側事務局長
スタッフ・事務局
崔　誠姫（Choi Seong-Hee）一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程、朝鮮近現代史
李　宣定（Lee Sun-Jung）一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程、リサーチアシスタント、日本近代史
文　泰勝（Mun Tae-Sung）朝鮮大学校政治経済学部助教、韓国政治史
尹　朝鉄（Yun Jo-Cheol）一橋大学大学院社会学研究科修士課程　日本近世史・思想史
蔣　允杰（Jang Yun-Geol）一橋大学言語社会研究科修士課程
伴野文亮（Tomono Fumiaki）一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程　日本近世・近代史
比江島大和（Hieshima Hiroto）一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程　日本近現代史、リサーチアシスタント
井上直子（Inoue Naoko）一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程　日本近現代史

（以上、敬称略）

【附記】
本雑誌は、日本学術振興会科学研究費基盤研究（A）「「日韓相互認識」研究の深化・発展のために―東アジア情勢のなかで―」（代表吉田裕、課題番号二六二四四〇三七）の交付を受けて刊行したものである。末尾に付して御礼に代えたい。